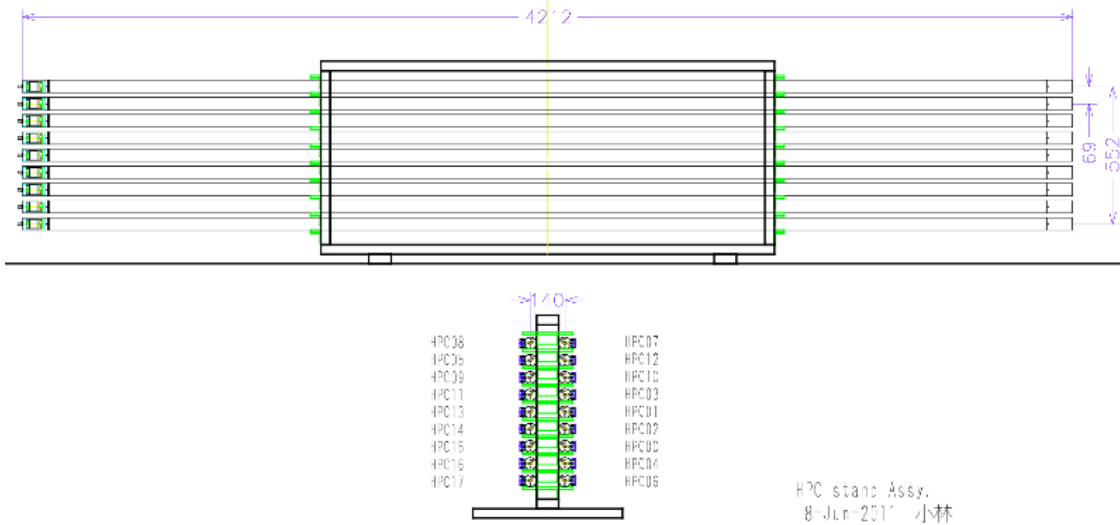
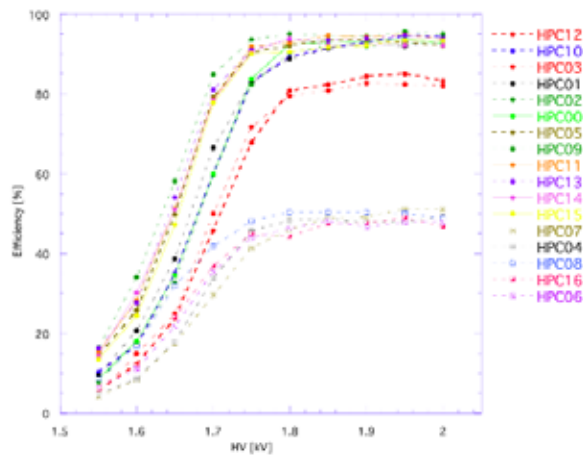


* HPC

* 図のような配置で、宇宙線を使い plateau curve を測定



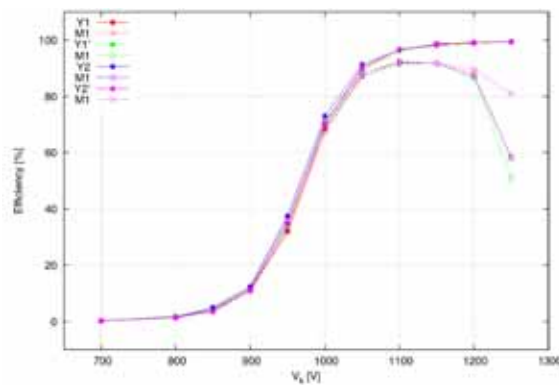
* 検出効率は一応プラトーを持つ。



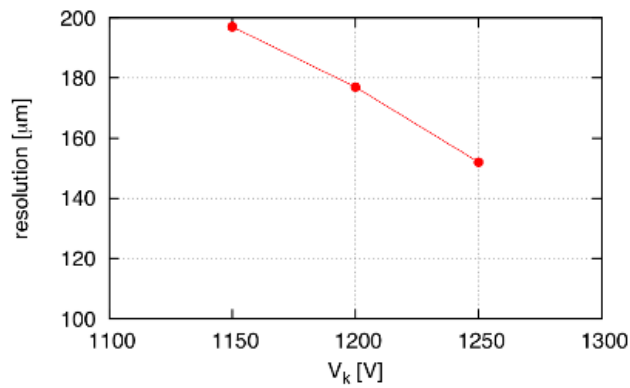
- * coincidence window 巾は $1 \mu \text{ sec}$ 。
- * #7, #4, #8, #16, #6 の効率が低いのは、最上段/最下段にある為。
- * #12, #3 の効率が他より低い理由は不明。
- * 動作点は、+1.9kV にする予定。

* LP-BDC

* β 線による検出効率: Gas= i-C4H10, pressure= 100 torr, $V_{th}=-0.4V$



- * Cosmic ray による位置分解能 @100 torr $\sim 150 \mu\text{m}(\text{rms})$ 。 MIPS を 100 torr で検出すると考えるとそう悪い値でもない。

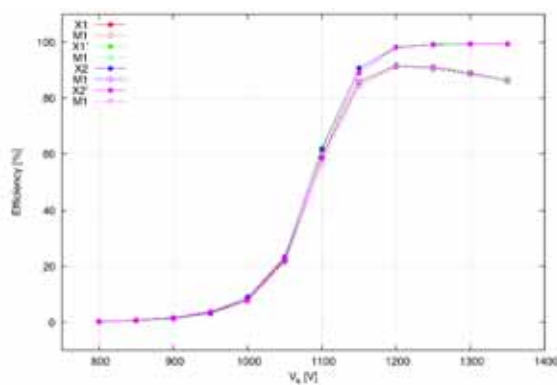


- * FDC1/FDC1 外箱

- * 全チャンネル結線後、低圧ガス系、読出回路に接続。



- * ノイズは $V_{\text{th}} = -0.2\text{V}$ でも問題無。 MIPS 有感の高電圧でも放電問題は無し。
- * β 線による検出効率 :
 - * 圧力=100 torr、ガス=i-C₄H₁₀、 $V_{\text{th}} = -0.4\text{V}$
 - * 読出は、x1, x1', x2, x2' の4面



- * HIMAC での試験

- * 7/12(Tue)-7/15(Fri)